



〈記事〉 毎日新聞朝刊 大阪南版／平成 22 年 10 月 19 日 和歌山版／10 月 26 日



米山奨学金を受けた留学生
「感恩の心」を披露

中国・上海

国際ロータリー第2640地区（和歌山全県と大阪の泉州・南河内地域）の米山奨学金を受けた現旧留学生たちによる米山学友会上海シンポジウムが、中国・上海で初めて開かれ、約100人が参加した。

モンゴル、ネパール、ベトナム、韓国など現役奨学生26人も参加。「21世紀における留学生の役割」をテーマに、3部にわたって行われた。米田真理子ガバナーが冒頭あいさつで、「民間外交として世界に平和の種子をまく。留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける奉仕活動です」と、奨学事業の趣旨を説明した。

第2部のパネルディスカッションには、多くの奨学生を受け入れている大阪府立大の寺迫正廣副学長などが出演。「米山奨学生からの採用者は優秀な若者が多い」「送金が母国の混乱でストップされ



シンポジウムで手話の歌「感恩の心」を披露する米山奨学生たち

た時、米山に助けられた」「学業専念も大事だが、学校で習えない言葉や経験をアルバイ

トによって学べる」などの意見が出た。

アトラクションで民族芸能が披露されたほか、世話になった人への感謝を表す手話の歌「感恩の心」が、現役奨学生たちによって「全員合唱」された。

米山記念奨学会は、日本ロータリーの父とされる故米山梅吉氏の功績をたたえて創設。奨学金を交付するだけでなく、世話クラブを指定して、そのメンバーが奨学生のカウンセラーとして多様な面から学業を支援している。

【嶋谷泰典】

〈広告〉 毎日新聞朝刊 半2段 大阪南版／平成 22 年 10 月 16 日 和歌山版／10 月 16 日

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ



地域を育み、大陸をつなぐ

ロータリーは、
海外からの学生を
支援しています。

▶ お問い合わせは、下記まで ◀



RI 第2640地区 (大阪南部・和歌山) ガバナー 米田 真理子
2010～2011年度 ガバナー事務所 〒590-0021 大阪府堺市東区北三丁目1番16C第14号
TEL.072-224-2640 FAX.072-224-2650
〈HP〉http://www.rid2640g.org 〈e-mail〉info@rid2640yoneda-g.org

